

まるで自分も一緒に結婚したみたいだった

ドキュメント

『紀香魂』ができるまで

1/30~

12/28

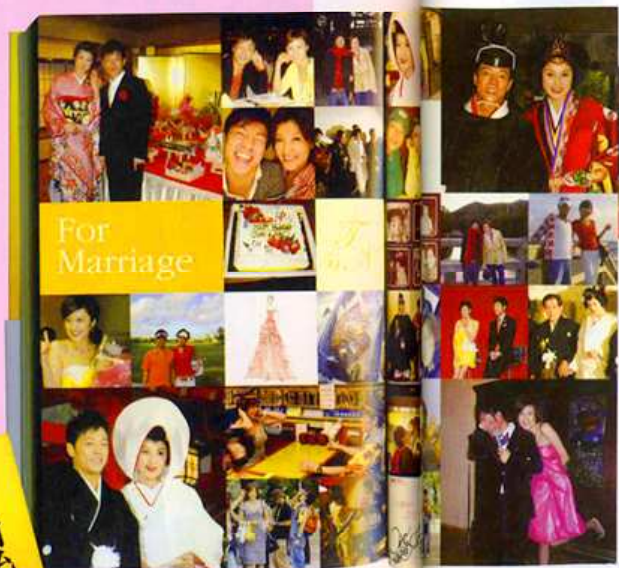
12/26

START

大阪、京都……
紀香さんに呼ばれたらどどこへでも
 撮影の合間や、ネイルケア、加圧トレーニング中などの隙間時間に、紀香さんのもとでインタビュー。電話で呼ばれると、どこへでも飛んでいき、テープを回す日々。大阪や京都まで行ったことも。

「結婚の真相を語りたい！」
 週刊誌などで結婚をネタに、身に覚えのないことをたくさん書かれてしまった紀香さん。「本当のことを多くの人に知ってもらいたい」という強い気持ちから、書籍化が決定した。披露宴の引き出物にするため、急ピッチで準備が進む。

陣内さんとの結婚を正式発表



【紀香魂】
 幻冬舎 1400円(税込)

陣内智則さんとの出会いから結婚に至るまでのエピソードをはじめ、結婚式や披露宴の舞会まで、藤原紀香が思いをこめて綴ったエッセイ。

校了前は毎日が紀香デー タレント密着型・書籍編集術

十二単の花嫁姿が印象的だった、女優・藤原紀香さんの結婚式。その準備や、夫・陣内智則さんとの出会いから結婚までのエピソードなどを綴ったエッセイが『紀香魂』だ。この書籍が披露宴の引き出物にもなり、話題を呼んでいる。そのタイムリーな発売の裏には、一体どのような編集者の働きかけがあったのだろうか。

毎日紀香さんに密着！
 新居に押しかける日々

「紀香魂」の編集を手がけた幻冬舎、編集2局編集長の鈴木恵美氏は、2003年に発売された藤原紀香さんのエッセイ『藤原主義』も担当した編集者だ。

鈴木氏によると、最初「紀香魂」は「藤原主義」の第二弾として少しずつ企画が進んでいたという。そんな折、紀香さんが芸人・陣内智則さんとの結婚を06年12月に発表。そこで鈴木氏は、後日開かれた打ち合わせで「結婚をメインに取り上げたエッセイを、披露宴の引き出物にしませんか」と提案。紀香さんも快諾し、すぐさま5月30日の披露宴に

向けた書籍制作が始まった。

それから先は紀香さんの自宅や撮影現場に通う日々。少しでも紀香さんに時間があれば、携帯電話で呼び出してもらい、エピソードを録音。テープ起こしをしたのち、それをもとに紀香さんが原稿を執筆するという流れで数カ月が過ぎた。

2月の挙式や披露宴の最新情報、新たに思い出したことなどを随時書籍に入れていくため、インタビューからテープ起こし、執筆、初稿チェックは、章ごとに同時並行で進んでいた。「どの章がどの段階まで進んだかを把握するのに苦労しました」と鈴木氏。なんと、最新情報を入れたいという紀香さんの意向により、テープ起こしは校了直前まで続いた



幻冬舎

編集2局 編集長
 鈴木 恵美氏

大学卒業後、PHD研究所に入社。書籍の編集に携わる。2000年に幻冬舎に入社後、「読めらるる」『竹中教授のみんなの経済学』『常識として知っておきたい日本語』『美麗ダイエット』などの書籍を担当。

タイムリーに
 発売する編集技術

case 1

という。最後は外部にテープを託す時間もなく、鈴木氏自らその作業を行った。発売日が近くなった5月に入ってから、毎日のように紀香さんの新居に押しかけ、テープをまわし、原稿やケラをチェック。
 「5月は、朝、紀香さんに会って、また夜も会うという状態でした。紀香さんは完璧主義なので、赤字の量が半端じゃなく多い。裏までびっしり書き込まれていたこともありません。校了は7校目まで出したんじゃないでしょうか。執筆を続けるうちに書きたいことが増えていくようで、直前に新たな項目ができてしまったりもしました」と、鈴木氏は当時を振り返る。さらに、「5月30日の披露宴で引き出物を開けるまでは、本当に入っているか不安でしたね(笑)」と鈴木氏。
 「紀香魂」スピード発売の裏には、タレントのプライベートに密着して進行し続けた鈴木氏の臨機応変な行動があった。